

ごみが処理されるまで

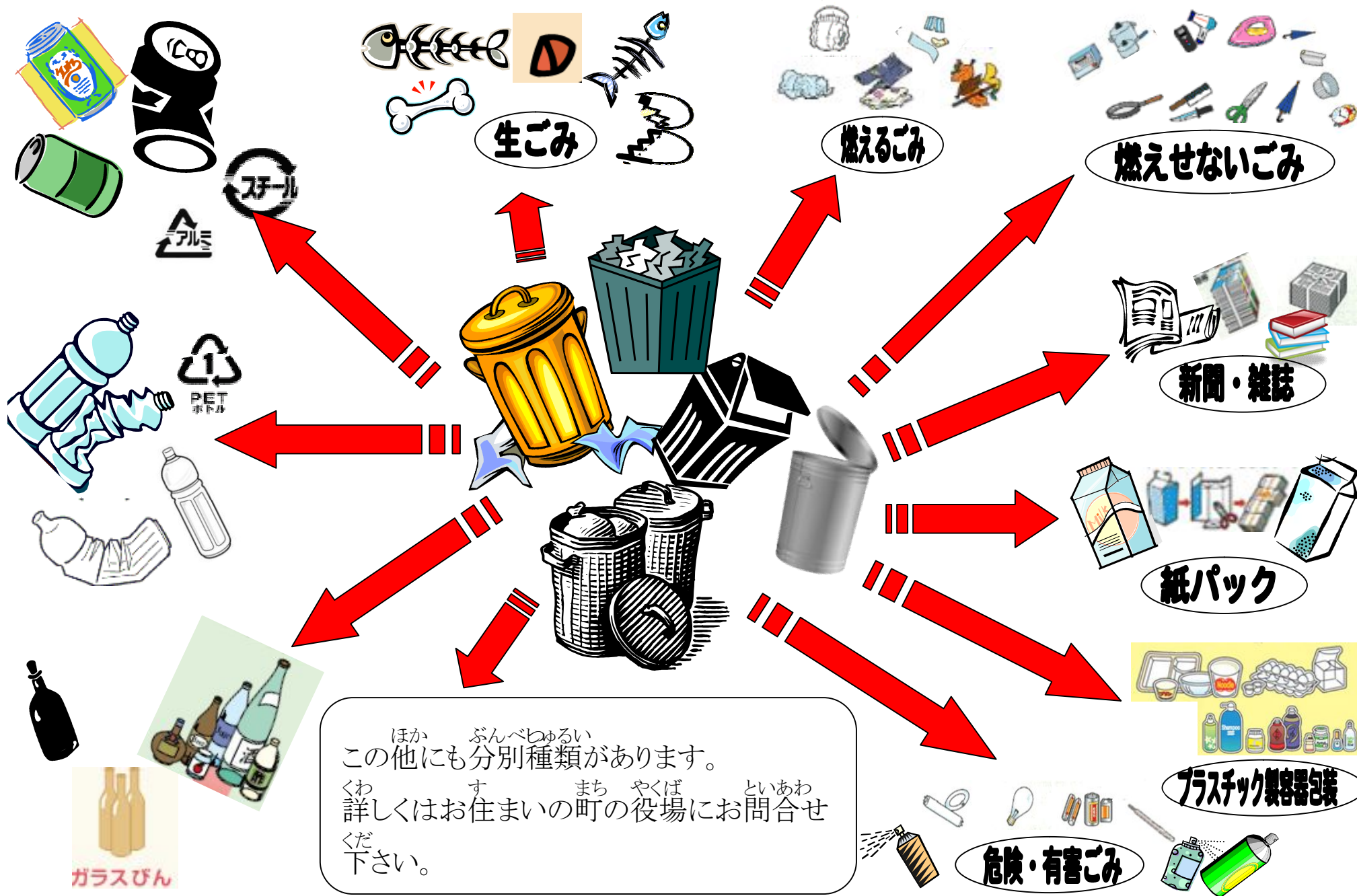
～空へとつづく「ごみ」のたび～



「ごみ」を分別します。

むかしとく こうどけいざいせいちようきころ にほん かてい しょうきやく かひ かんてん ふ
昔（特に高度経済成長期頃）の日本の家庭ゴミは、ほとんどが焼却の可否の観点から不
ねん かねん
燃ゴミ、可燃ゴミに分けられていました。

じゅうようせい かんきょうおせん さいしゅうしょぶんじょう げんしょう
しかしながら、リサイクルの重要性やゴミによる環境汚染、最終処分場の減少に伴うゴ
み げんりょうか ひつようせい にんしき ぜんこく ぶんべつ すす げんざいぜんこく
ミ減量化の必要性が認識されるようになり全国で分別が進みました。現在全国では34
しゅるい さいぶんか じちたい
種類に細分化している自治体もあります。



生ごみ

燃えるごみ

燃えせないごみ

新聞・雑誌

紙パック

プラスチック製容器包装

危険・有害ごみ

ガラスびん

スチール

アルミ

PET

ほか ぶんべいゆらい
 この他にも分別種類があります。
 くわ す まち やくば といあわ
 詳しくはお住まいの町の役場にお問合せ
 くだ
 下さい。